2023年2月期
決算説明資料

株式会社ジェーソン　（証券コード：3080）

2023年4月13日

INDEX
目次

1　会社概要

2　2023年2月期 決算概要

3　当社の特徴と成長戦略、今期の取り組み

4　2024年2月期 業績予想・株主還元

5　サステナビリティ

JASON

1　会社概要

VISION
ビジョン

人々の生活を支えるインフラ（社会基盤）となる

ビジネスをサイエンスし、
未来へ進化し続けるロープライスストアを目指します。

Copyright 2023 JASON Co., Ltd.

会社概要

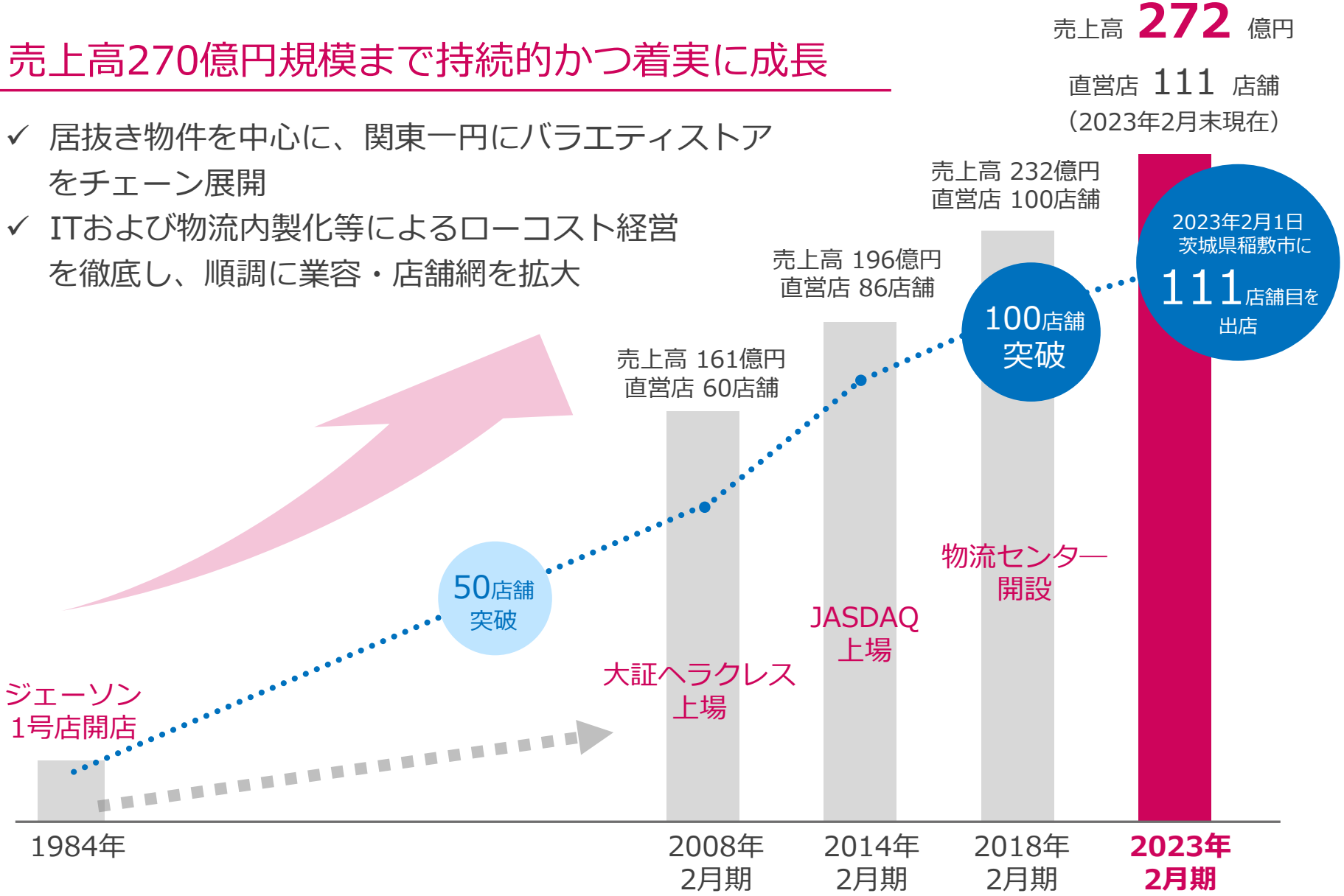
会　社　名	株式会社ジェーソン
上　場　市　場	東京証券取引所　スタンダード　3080
事　業　概　要	ディスカウントストアとバラエティストアの運営およびチェーン展開
設　　立	1973年7月 （会社合併による存続会社の設立年月日。実質的な事業開始は1983年6月）
代　表　者	代表取締役社長兼会長　太田 万三彦
本　　社	千葉県柏市大津ヶ丘2－8－5
資　本　金	3億2,030万円
決　算　日	2月末日
従　業　員　数	1,695名（正社員188名・準社員1,507名。2023年2月末現在）

Copyright 2023 JASON Co., Ltd.

沿革

売上高270億円規模まで持続的かつ着実に成長

- ✓ 居抜き物件を中心に、関東一円にバラエティストアをチェーン展開
- ✓ ITおよび物流内製化等によるローコスト経営を徹底し、順調に業容・店舗網を拡大



Copyright 2023 JASON Co., Ltd.

グループ概要

ジェーソン グループ

当社と連結子会社【株式会社スパイラル】【株式会社尚仁沢ビバレッジ】の３社で構成されています。

株式会社ジェーソン

販売 ↑ ↓ 施設賃貸

販売 ↑ ↓ 転リース

株式会社スパイラル

ジェーソン業務を補完するための商品調達

しょうじんざわ
株式会社尚仁沢ビバレッジ

PB商品「尚仁沢の天然水」を製造する
ボトリング事業

Copyright 2023 JASON Co., Ltd.

地域密着型のバラエティストア※を運営

※地域密着の生活必需品を安価に提供する、コンビニエンス性の高い店舗のこと。

1日の来店者数 約 51,400 名

生鮮食品を除く生活必需品、日用品のバラエティストアを首都圏、関東近郊の生活圏で運営

平均的な店舗面積 約 210 坪

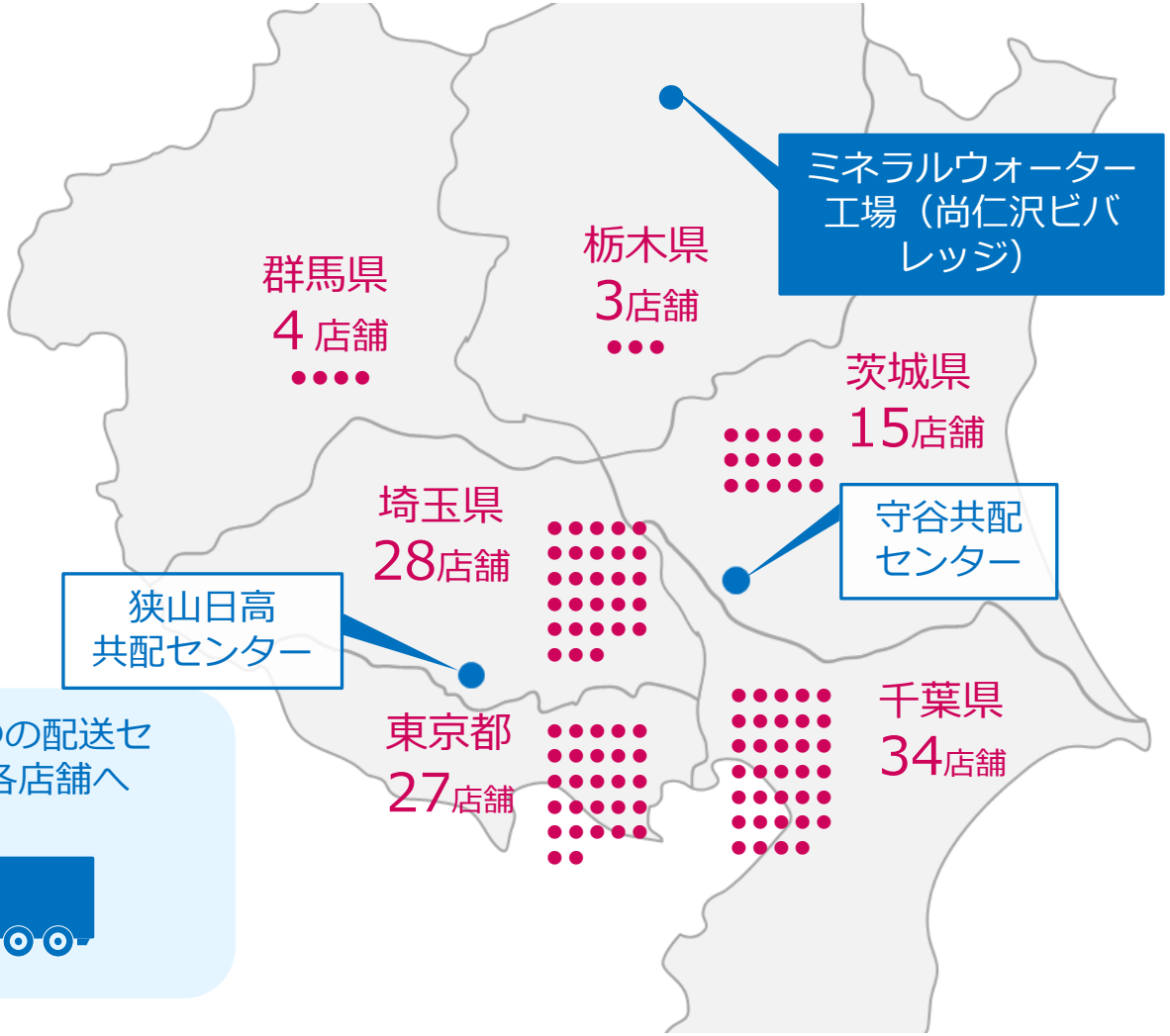
いつでも安く、より短い時間で、手軽に購入できる売り場づくりを心がけています。

Copyright 2023 JASON Co., Ltd.

店舗網

物流センターをハブとして関東一円で店舗展開

店舗分布



自社運営の2つの配送センターより、各店舗へ商品配送

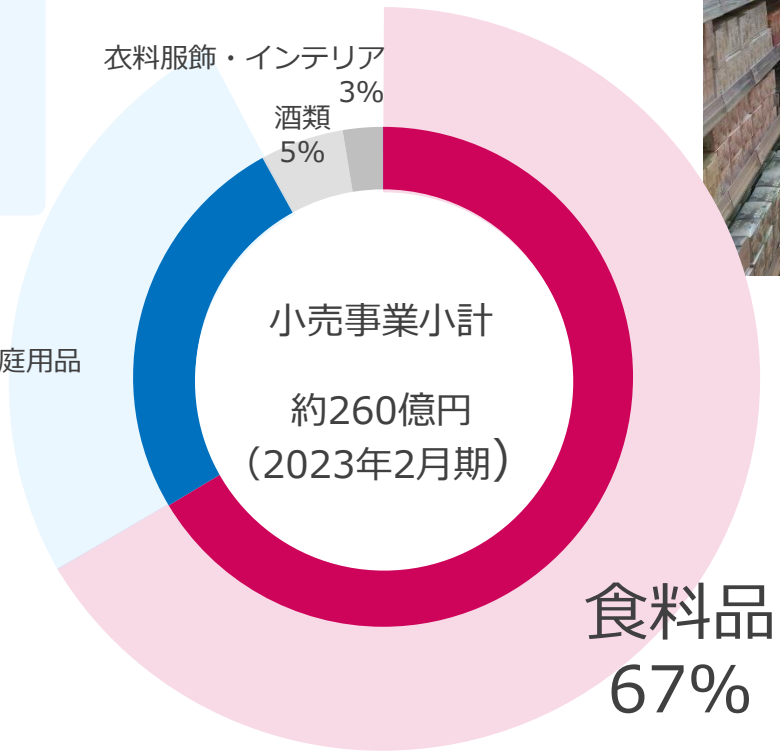
Copyright 2023 JASON Co., Ltd.

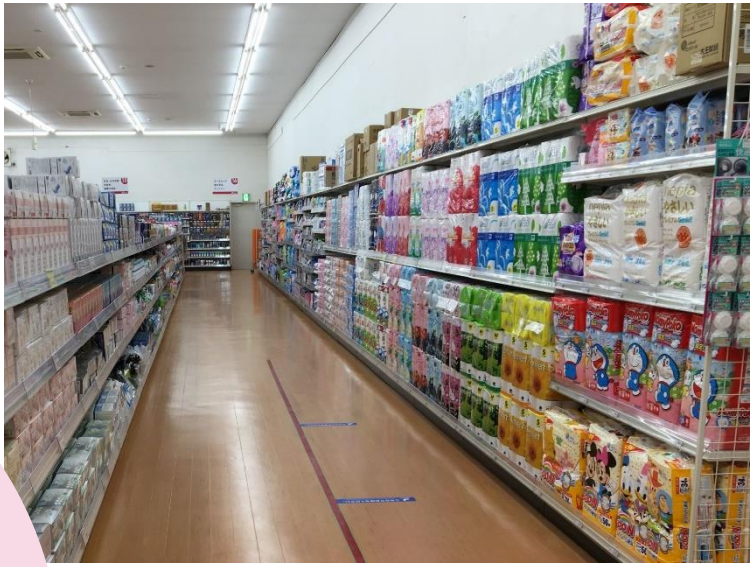
事業内容：取扱商品

売上の約7割が食料品であり、地域住民の生活に貢献

日用品・家庭用品に
含まれるもの

洗剤衛生品
キッチン日用品
洗濯清掃品
ペット用品　等





▲店内の陳列の様子

食料品に
含まれるもの

飲料（お茶、コーヒー、
ミネラルウォーター等）
菓子・グロッサリー
日配品　等

Copyright 2023 JASON Co., Ltd.

事業内容：PB商品

ミネラルウォーター「尚仁沢（しょうじんざわ）の天然水」
2021年10月発売以来386万本の販売実績。(2023年2月末時点)

環境省が選定した全国名水百選に数えられる名水「尚仁沢湧水」のミネラルウォーター。
天然の広葉樹（ブナ）の原生林に育まれた湧水は「天然弱アルカリ」成分で、超軟水（硬度：23mg）であり、まろやかな味わい。

▲栃木県塩谷町 尚仁沢ボトリング工場

Copyright 2023 JASON Co., Ltd.

2　2023年2月期 決算概要

業績ハイライト

光熱費の急上昇を受け、期中で利益予想を修正したものの、売上は期初計画を達成し、利益も修正計画に対しては上振れ

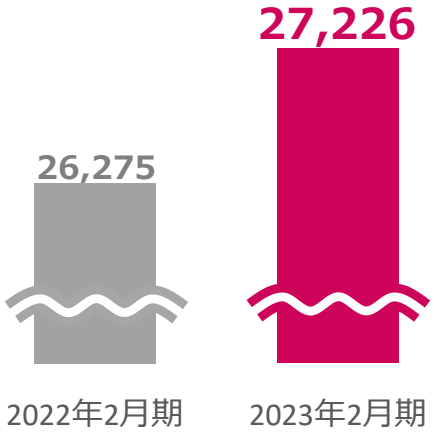
業績達成の要因

- ✓ 店舗のスクラップ＆ビルドが進展。年間3店舗純増。
- ✓ PB商品（主にミネラルウォーター）、JV商品の仕入強化。
- ✓ 「尚仁沢の天然水」のリコール影響は軽微、再販後の売上好調。
- ✓ 物価高騰の中、顧客の価格選好が一層強まり、低価格商品が主力の当社の優位性が相対的に向上。

（単位：百万円）

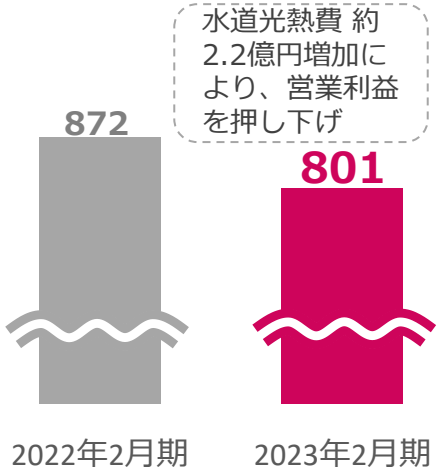
売上高

前期比 **3.6% 増**



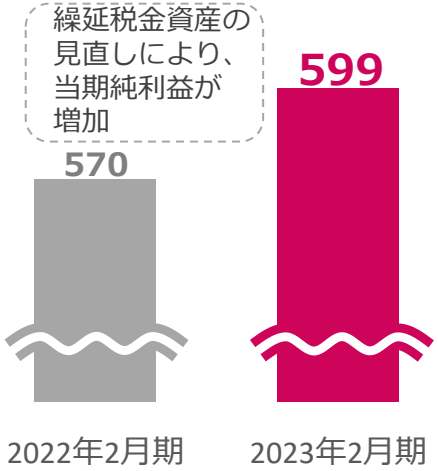
営業利益

前期比 **8.2% 減**



当期純利益

前期比 **5.2% 増**



Copyright 2023 JASON Co., Ltd.

2023年2月期(累計・連結)

JV（ジェーソンバリュー）商品の好調な売れ行きにより売上総利益が増加。
水道光熱費の高騰などの影響を受けながらも、当社の強みであるローコストオペレーションを追求し、各段階利益は、修正計画を上回る実績。

（単位：百万円）	2022.2月期 通期		2023.2月期 通期				
	実績	率	実績	率	※前期比	修正計画	達成率
売上高	26,275	—	27,226	—	103.6%	27,000	100.8%
原価	19,373	73.7%	19,964	73.3%	103.1%	—	—
売上総利益	6,901	26.3%	7,261	26.7%	105.2%	—	—
販管費	6,029	22.9%	6,460	23.7%	107.1%	—	—
営業利益	872	3.3%	801	2.9%	91.9%	760	105.4%
経常利益	916	3.5%	839	3.1%	91.6%	800	104.9%
当期純利益	570	2.2%	599	2.2%	105.1%	540	110.9%
EPS（円）	44.49	—	46.82	—	105.2%	42.15	—

※「収益認識に関する会計基準」を考慮せず単純比較

Copyright 2023 JASON Co., Ltd.

下期　出店実績

上期3店舗に加え、
下期では埼玉県と茨城県で新たに**2店舗**がオープン

2022年10月19日　OPEN

ジェーソン入間下藤沢店（埼玉県）

最寄駅　西武池袋線　武蔵藤沢駅　埼玉県入間市下藤沢667-1
売場面積　728㎡

ジェーソン稲敷江戸崎店（茨城県）

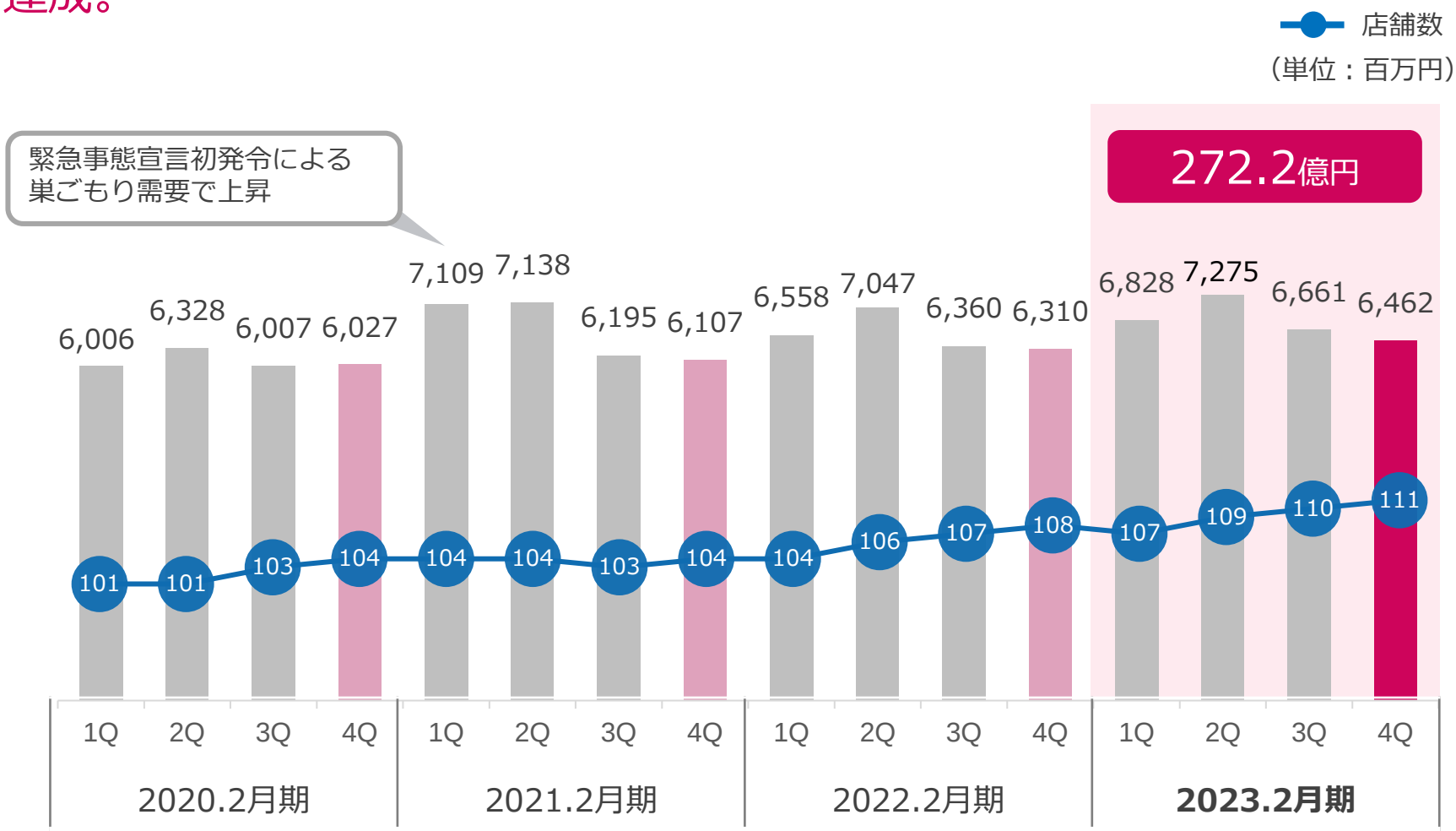
最寄駅　JR常磐線 土浦駅　茨城県稲敷市佐倉3326-1
売場面積　1,397㎡

2023年2月1日　OPEN

Copyright 2023 JASON Co., Ltd.

売上高 四半期推移（会計期間）

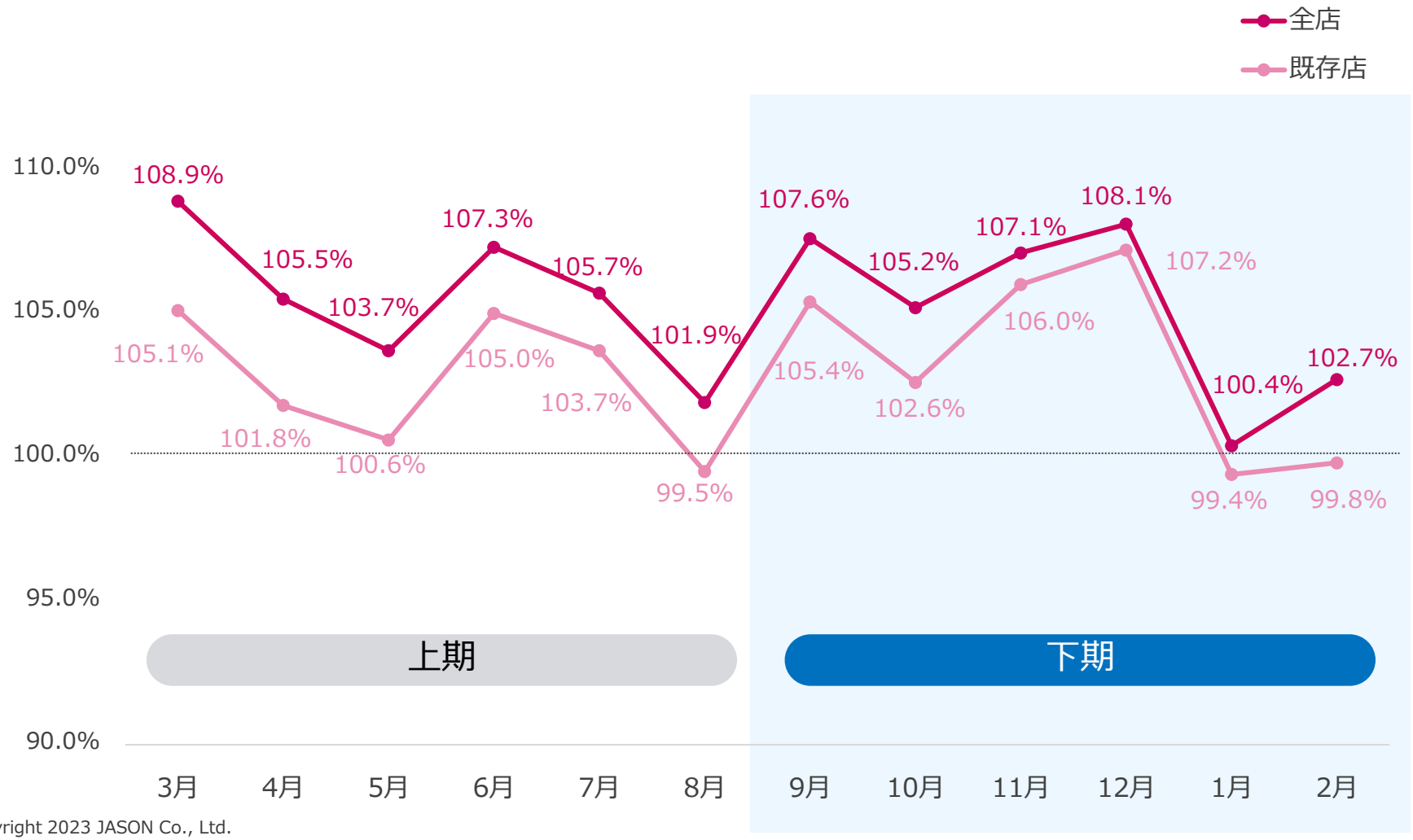
JV商品、PB商品の売上堅調および店舗数増加に伴い、増収基調が継続。各四半期とも前年実績を上回り、年間で過去最高の売上270億円超を達成。



Copyright 2023 JASON Co., Ltd.

月次売上推移

概ね前年同月比**105%超**で推移。
ただし、2023年1月、2月は、前年同時期においてコロナ対策関連商品の特需があったため、その反動減で既存店は前年同月比マイナス。

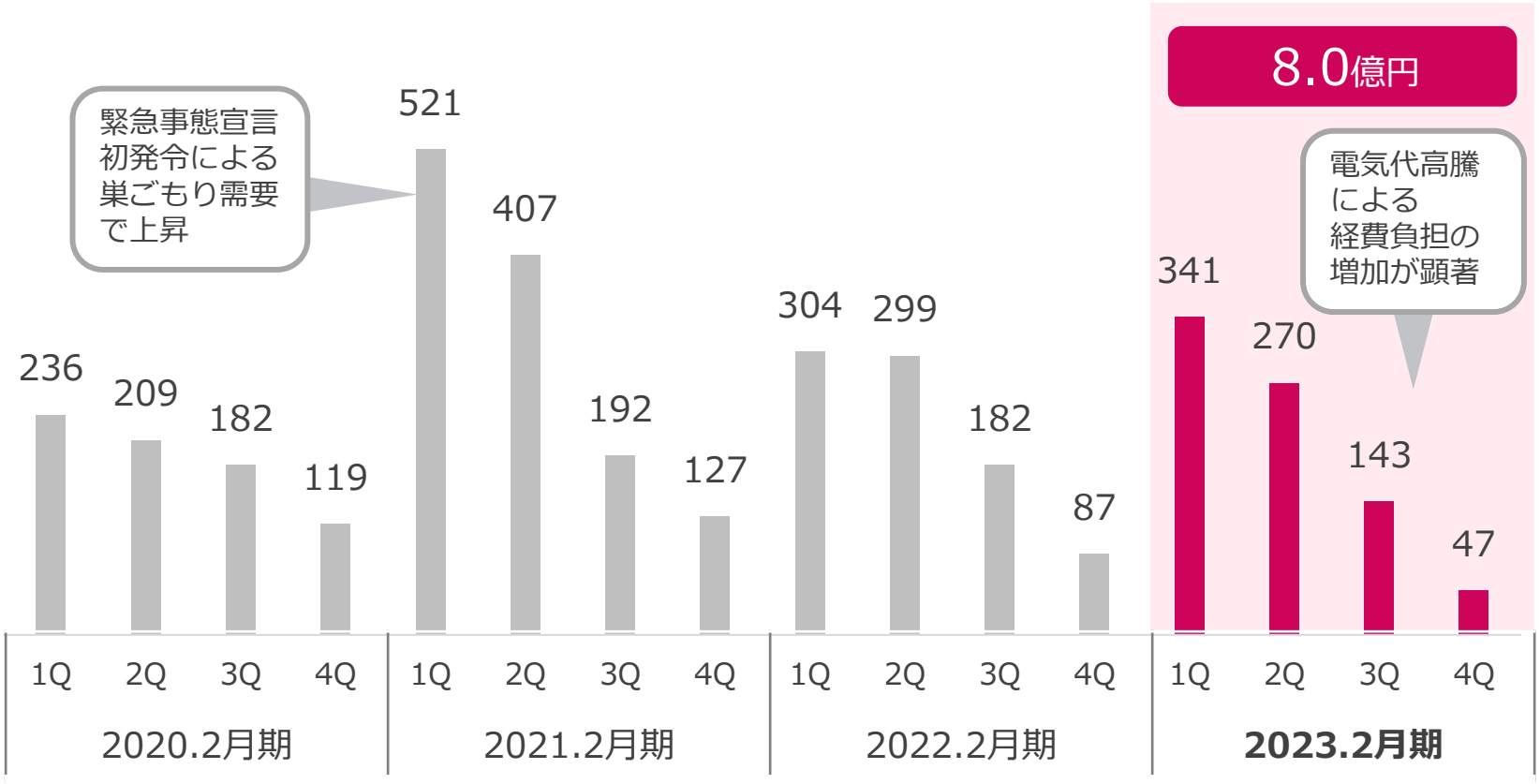


Copyright 2023 JASON Co., Ltd.

営業利益 四半期推移（会計期間）

電気料金を中心とした各種コストの上昇を受け、前期比で減益となるも、節電努力などの効果もあり修正計画は達成。
引き続きローコストオペレーションを追求し、利益向上を目指す。

（単位：百万円）



Copyright 2023 JASON Co., Ltd.

業績ハイライト　商品部門別の状況

通期の売上構成比は概ね例年通り食料品が65%（※）、日用品等25%

※　その他営業収入を含む全社ベース

（単位：百万円）

商品部門名称	金額	構成比
衣料服飾・インテリア	664	2.4%
日用品・家庭用品	6,640	24.4%
食料品	17,629	64.8%
酒類	1,281	4.7%
その他商品	-	-
小計	26,216	96.3%
その他営業収入	1,010	3.7%
合計	27,226	100.0%

Copyright 2023 JASON Co., Ltd.

業績ハイライト　地域別の状況

店舗数は年間で純増3店舗。すべての地域で売上増加。

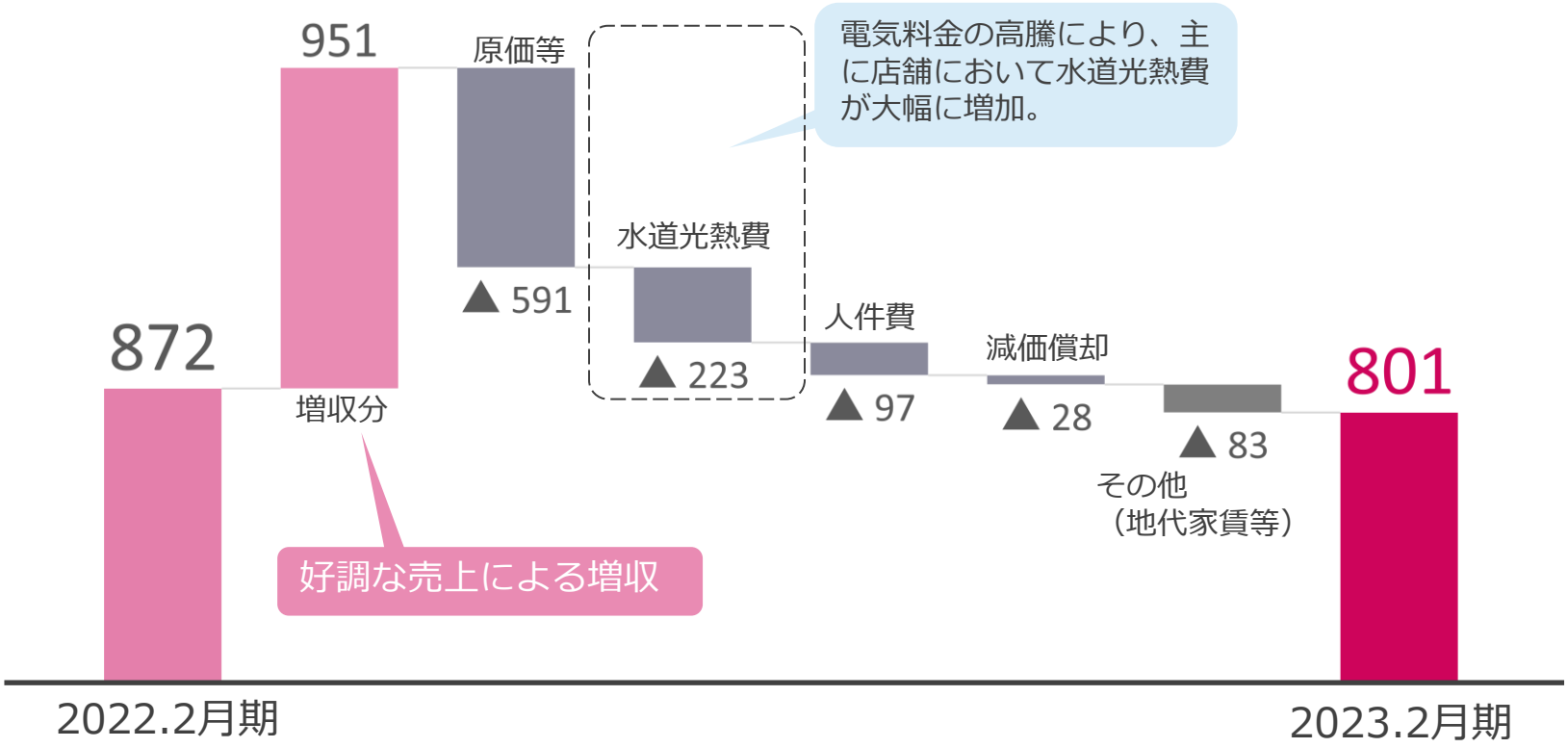
地域の名称	売上金額（単位：百万円）		前期比	店舗数（単位：店）		増減数
	2022.2月期	2023.2月期		2022.2月期	2023.2月期	
千葉県	8,512	8,769	103.0%	35	34	▲1
東京都	6,579	6,649	101.1%	27	27	0
埼玉県	5,870	6,170	105.1%	28	28	0
茨城県	3,038	3,224	106.1%	14	15	1
栃木県	605	725	119.8%	2	3	1
群馬県	315	676	214.6%	2	4	2
小計	24,921	26,216	105.2%	108	111	3
その他営業収益	1,353	1,010	74.6%	―	―	―
合計	26,275	27,226	103.6%	―	―	―

Copyright 2023 JASON Co., Ltd.

営業利益　増減要因

電気料金の高騰などの影響を大きく受け減益となるも、好調な売上および売上総利益の増加、ローコストオペレーションの追求等により、修正計画に対しては上振れ着地。

（単位：百万円）



Copyright 2023 JASON Co., Ltd.

貸借対照表概要（連結）

新規出店5店舗、売上規模拡大により、前期比で総資産が約6.6億円、純資産約4.3億円増加し、自己資本比率54.6%。

（単位：百万円）	2022.2月期	2023.2月期	増減	主な内訳
流動資産	6,387	6,869	482	現金及び預金、 商品及び製品など
固定資産	3,354	3,536	182	
有形固定資産	1,975	2,083	108	建物及び構築物、土地、工具、器具及び備品など
無形固定資産	159	158	▲1	のれんなど
投資その他の資産	1,219	1,293	74	敷金及び保証金など
資産合計	9,742	10,405	663	
負債合計	4,491	4,720	229	
流動負債	3,475	3,540	65	買掛金、短期借入金、未払金など
固定負債	1,015	1,180	165	長期借入金、リース債務など
純資産合計	5,251	5,684	433	
負債・純資産合計	9,742	10,405	663	

Copyright 2023 JASON Co., Ltd.

キャッシュフロー

引き続き安定したキャッシュフローを維持。

（単位：百万円）	2022.2月期	2023.2月期	主な内訳
営業活動による キャッシュ・フロー	362	**673**	法人税等の支払、棚卸し資産の増加など
投資活動による キャッシュ・フロー	▲152	**▲155**	定期預金の払戻・預入、有形固定資産の取得など
財務活動による キャッシュ・フロー	▲230	**▲211**	長期借入れによる収入、長期借入金の返済、配当金の支払いなど
現金及び現金同等物の 期末残高	3,439	**3,745**	
フリーキャッシュフロー	210	**518**	

Copyright 2023 JASON Co., Ltd.

3　当社の特徴と成長戦略、今期の取り組み

当社ビジネスの3つのポイント

1

人々の生活を支えるインフラ**（社会基盤）**となること

地域密着型の経営で、お客様に喜ばれる店舗づくりを目指します。

2

科学的、合理的な視点でビジネスを進めること

内製化された
業務システム
＋
店舗オペレーション
商品管理
商品仕入
物流体制

3

ビジネスをサイエンスし、未来へ進化し続けること

時代の潮流を読み、絶え間なく進化するIT・デジタルテクノロジーとともに成長し続けます。

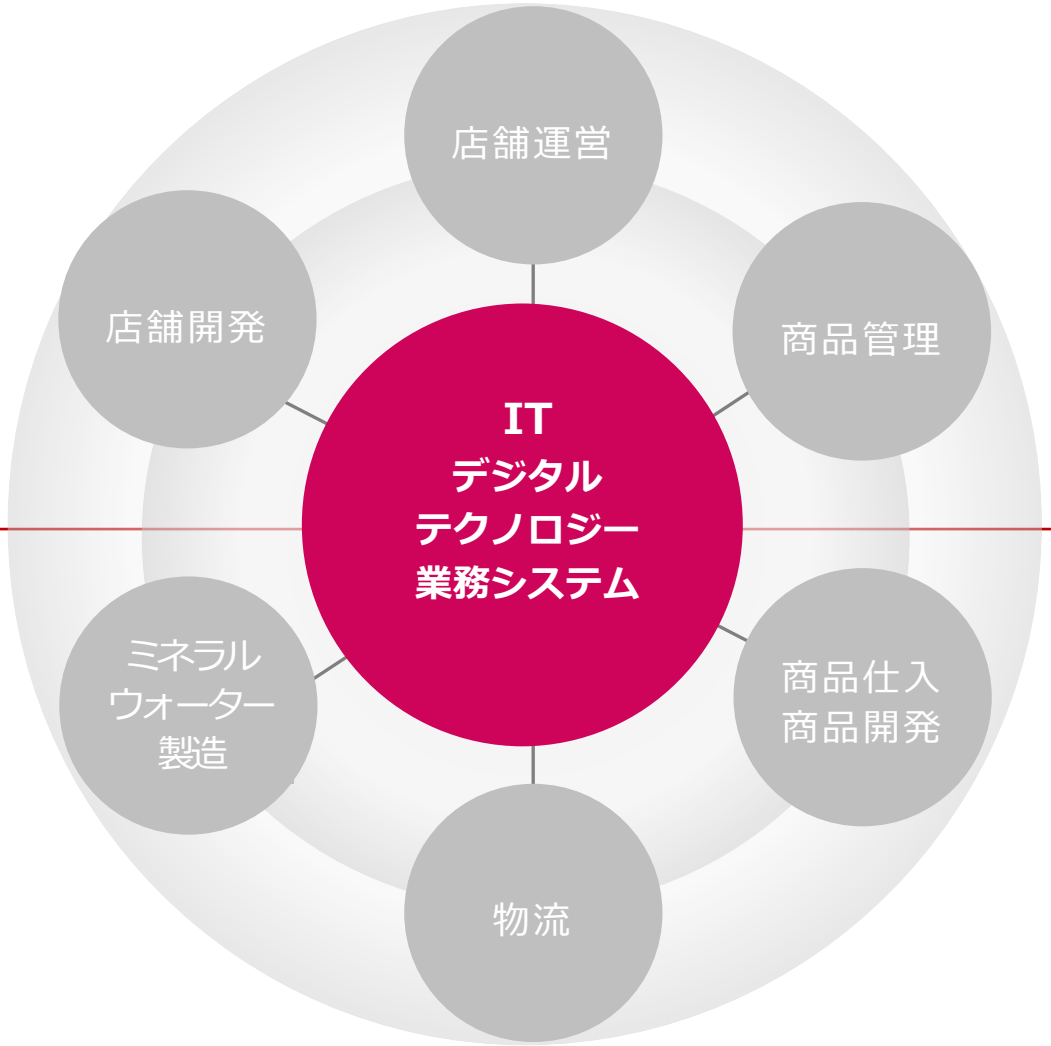
Copyright 2023 JASON Co., Ltd.

当社の強み、特徴

ジェーソンの発展を支える**デジタルテクノロジー・業務システム**

「ムリ・ムラ・ムダ」を
省いたローコスト経営

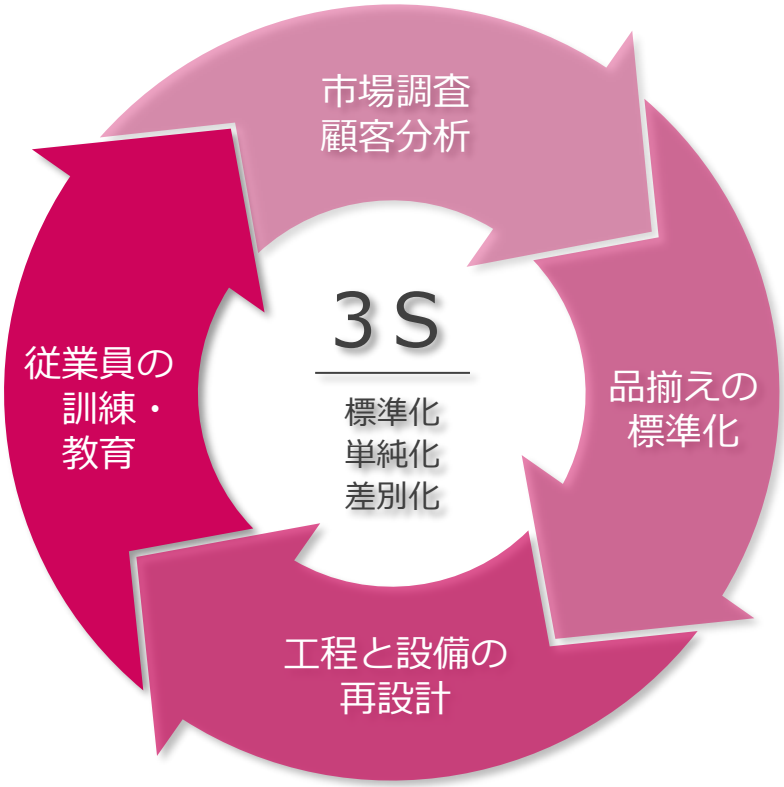
科学的、合理的な視点でビジネスを進めることが、ジェーソンが大切にしているマインド。



Copyright 2023 JASON Co., Ltd.

当社の強み、特徴

ベーシックなオペレーションシステムを愚直に実施し、改善を積み重ね、ステークホルダーの皆様と企業利益の両立を目指します。



多店舗展開・M&Aによる企業規模拡大
IT活用・内製化によるコストダウン

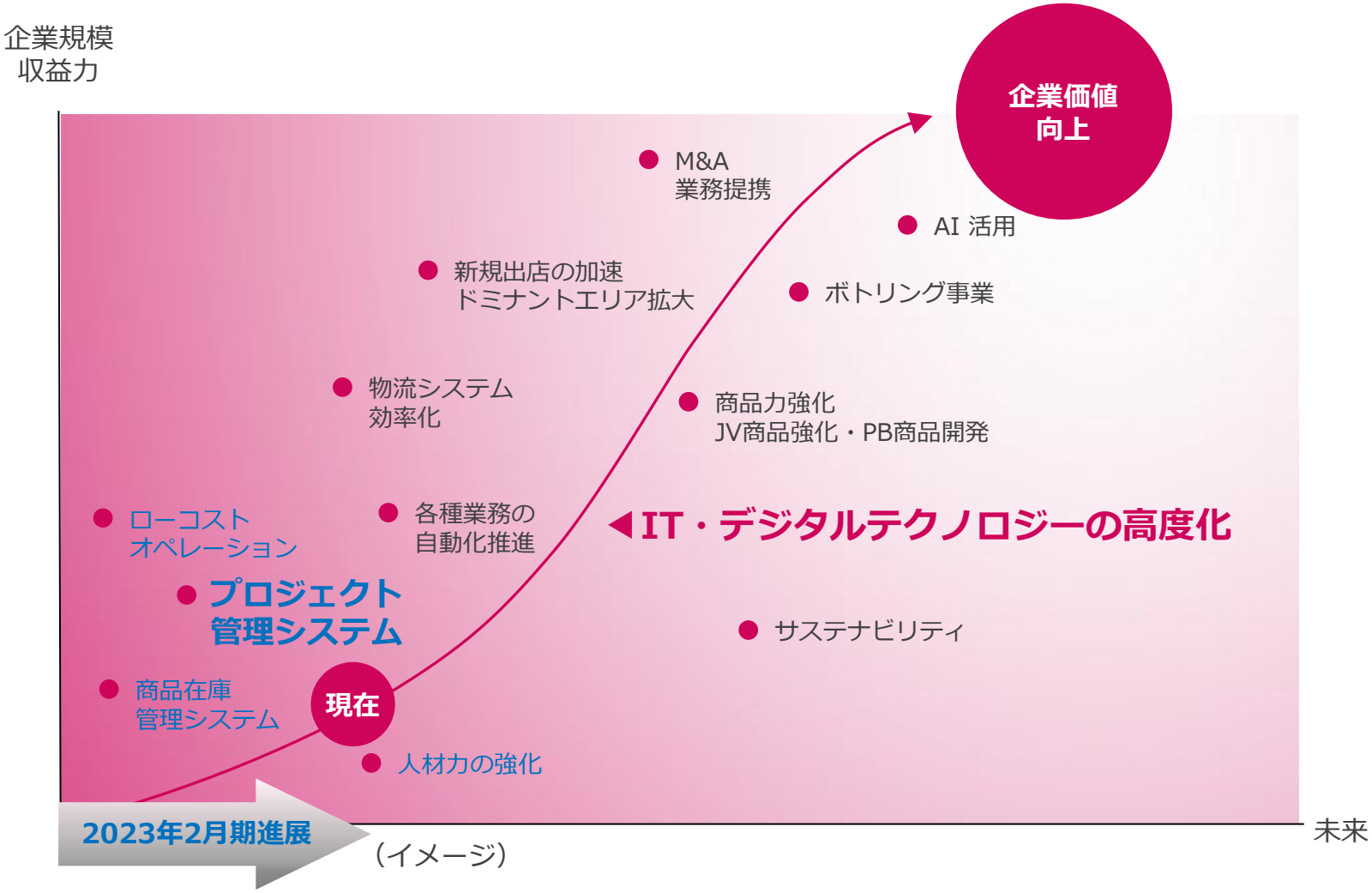
収益の大幅な増加

ステークホルダー（顧客・株主・従業員・取引先・社会）と企業利益の両立を実現

Copyright 2023 JASON Co., Ltd.

成長イメージ

社内IT・デジタルテクノロジーの高度化を主軸に、徹底したローコスト経営と各種経営戦略を展開し、企業価値向上を進めて参ります。



Copyright 2023 JASON Co., Ltd.

今期の取り組み

引き続き先行き不透明な外部環境下、徹底したローコスト経営を推進しつつ、以下の重点施策により事業の拡大・収益増強を図ります。

1 新規出店の加速

- 店舗開発人員を拡充し、店舗物件の情報収集力を強化。
- 居抜き物件を中心としたローコスト出店を推進。

2 JV（ジェーソン・バリュー）商品・PB商品の取扱拡大

- JV商品を中心にロープライスを訴求し、引き続き物価高に対抗。
- 自社製ミネラルウォーターの増産体制を強化、子会社の収益化。

3 経営効率の向上

- プロジェクト管理システムの活用によるマネジメント体制高度化。
- 省エネ、省人化の徹底。非効率業務の見直し、管理業務の自動化促進。

Copyright 2023 JASON Co., Ltd.

4　2024年2月期 業績予想・株主還元

2024年2月期 業績予想

店舗数増加、既存店における販売数量増加等により約5%の増収を見込む。収益面では、売上総利益率の更なる向上、子会社尚仁沢ビバレッジの黒字化などにより、約20%の増益を計画。

（単位：百万円）	2023.2月期 実績	2024.2月期 予想	前期比 （額）	前期比 （率）
売上高	27,226	**28,500**	1,274	104.7%
営業利益	801	**960**	159	119.9%
経常利益	839	**1,000**	161	119.2%
当期純利益	599	**630**	31	105.2%

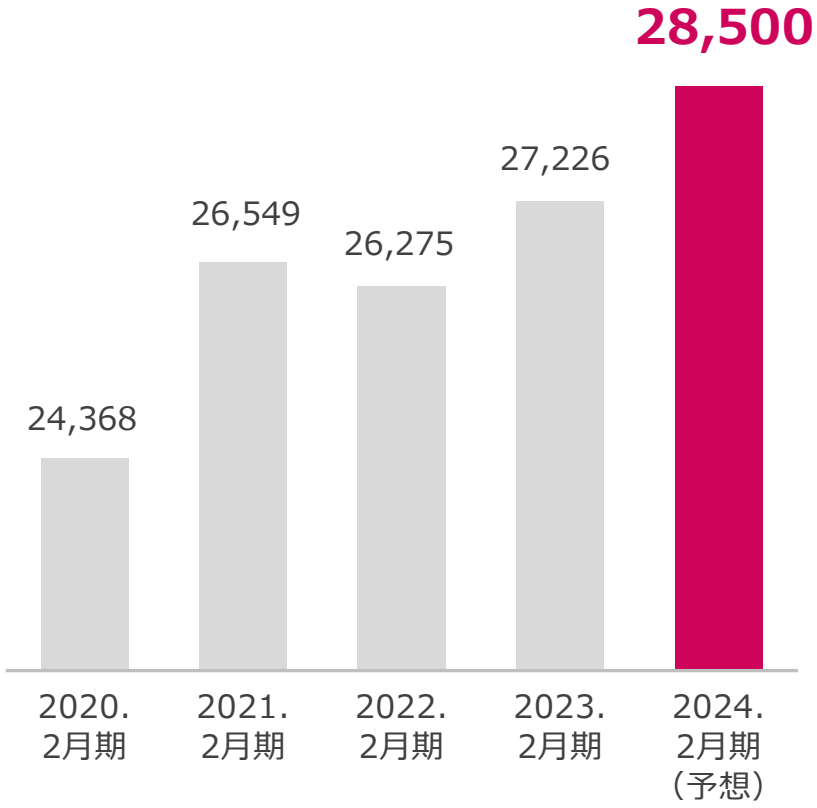
Copyright 2023 JASON Co., Ltd.

売上高・営業利益推移

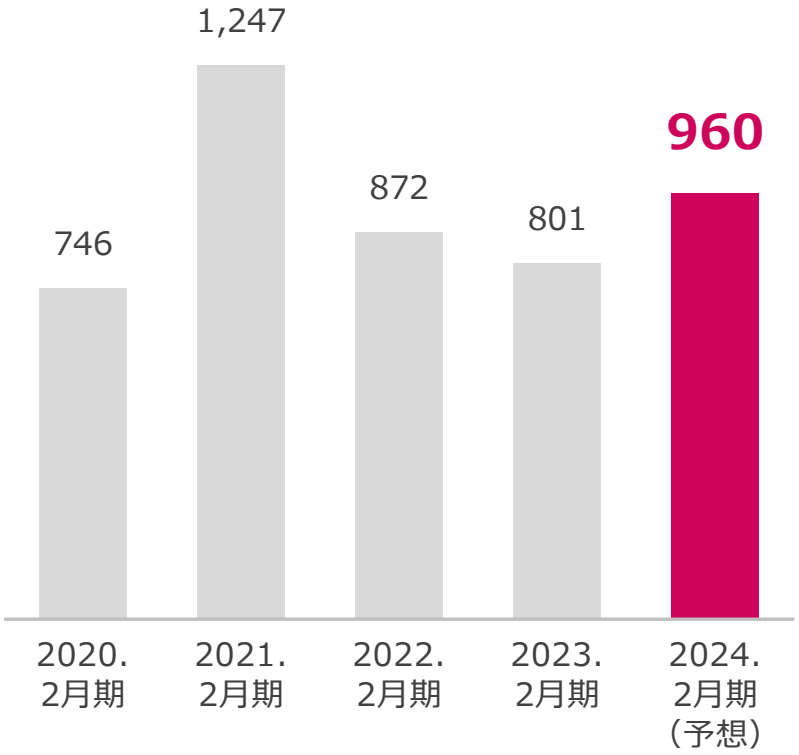
売上は増収基調を継続。営業利益は、コスト高を吸収しつつ、増益トレンドへ。

（単位：百万円）

売上高推移



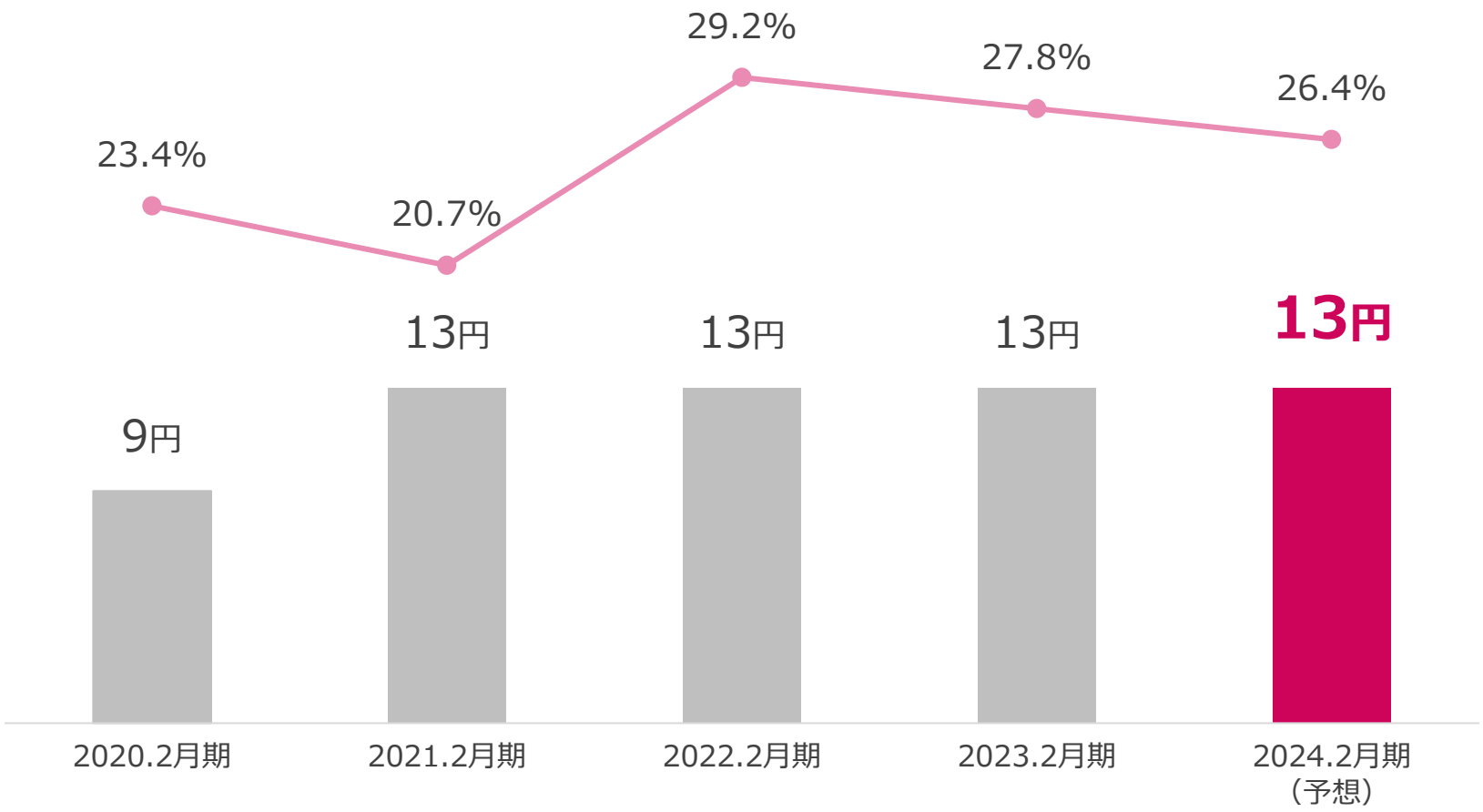
営業利益推移



Copyright 2023 JASON Co., Ltd.

1株当たり年間配当金と配当性向

前期と同額の1株当たり13円を予定。引き続き株主還元を重視しつつ、戦略投資に備えて参ります。

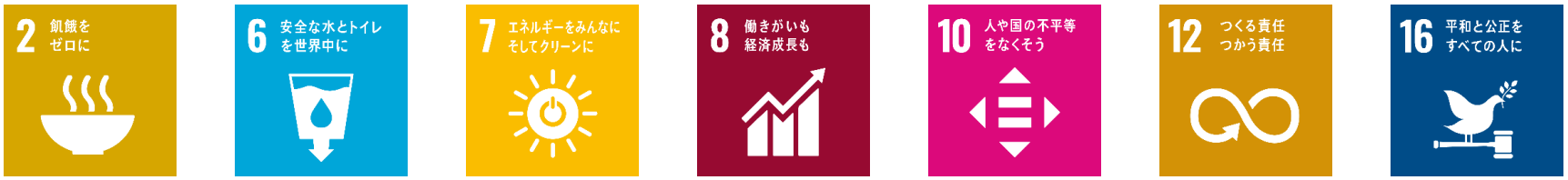


Copyright 2023 JASON Co., Ltd.

5　サステナビリティ

サステナビリティ

SDG s 17の目標のうち、特に以下の7つに注力しております。



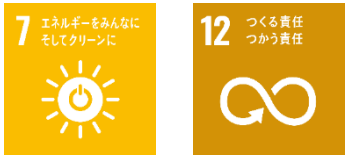
Environment（環境）

食品ロス削減

メーカー・商社等の商品政策の変更による返品商品や、賞味期限間近の商品を市中販売することで貢献しています。

省エネルギー

・LED照明の導入による消費電力削減
・店舗・本社の冷暖房温度適正化による省エネルギー対策
・自社物流の配送効率改善によるCO2削減
・会議資料のペーパーレス化



安全で安価な飲料水確保

100%子会社において良質なミネラルウォーターを徹底した衛生管理・コスト管理のうえ製造しています。

Copyright 2023 JASON Co., Ltd.

サステナビリティ

Social（社会）

社会貢献活動

・日本赤十字社への活動資金協力　・児童養護施設への支援

多様な働き方の推奨

・育児休業制度を採り入れ、女性は全員、男性は約半数近くが取得しています。
・育児短時間勤務、在宅勤務など柔軟な就業
・外国人雇用・障がい者雇用の実施

Governance（ガバナンス）

コーポレートガバナンス

持続的な成長のための経営の効率化を図り、健全で透明な経営体制を構築するため、コーポレート・ガバナンスを充実させております。

コンプライアンスの徹底・リスクマネジメント

企業価値及び信頼性の向上を目的として、事業活動に伴う各種リスクに適切に対応するための「リスク管理委員会」を設置し、社内を横断的に統括しております。

情報セキュリティ体制

・端末に情報を残さないよう独自のシステム上で業務を行う
・社内Wi-Fiを通じて限られた範囲内で情報を取り扱う
・ウイルス対策に注力し情報セキュリティを強化

Copyright 2023 JASON Co., Ltd.

留意事項

当該資料は当社の会社内容を説明するために作成されたものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。

また、本資料に記載されている将来の予測等に関する記述は、資料作成時点で入手している情報に基づき当社が判断したものであり、その情報の正確性を保証するものではありません。投資を行う際には、投資家ご自身の判断で行っていただきますようお願いいたします。

＜本資料に関するお問い合わせ先＞

株式会社ジェーソン
〒277-0921　千葉県柏市大津ヶ丘2-8-5
TEL :04-7193-0911
https://jason.co.jp/ir/

Copyright 2023 JASON Co., Ltd.